

(案)

平成 2 8 年 月 日

相模原市長 加 山 俊 夫 様

相模原市広域交流拠点整備計画検討委員会
会 長 岸 井 隆 幸

相模原市広域交流拠点整備計画について (答申)

平成 2 6 年 8 月 2 2 日付け F 0 ・ 4 ・ 8 をもって諮問のありました、以下の事項について、本委員会で検討した結果、別添のとおり答申いたします。

< 諮問事項 >

相模原市広域交流拠点整備計画に関する事項について

(案)

広域交流拠点整備計画の策定に当たって (検討委員会附帯意見)

本委員会では、相模原市広域交流拠点整備計画の策定に関し、様々な視点から検討し、本答申内容に決定いたしました。

その中で、相模原市がその特性や潜在力を生かし、首都圏南西部の広域交流拠点として圏域全体の発展をリードするまちづくりを進める上で、留意していただきたい事項を次のとおり意見として示しますので、整備計画の策定に当たり、特段の配慮をお願いいたします。

(1) 広域的な来街者を呼び込む交通網・交通軸等の強化

リニア中央新幹線の建設促進や圏央道 I C 方面及び多摩方面から広域交流拠点へアクセスする道路の整備等、広域的なアクセス性の強化に資する交通網・交通軸の強化については、神奈川県北のゲートの形成及び広域交流拠点のまちづくりに大きな影響を与える事業であることから、着実な取組を進めること。

また、京王相模原線橋本駅の駅舎の移設については、リニア中央新幹線駅と在来線間や、在来線同士の乗換利便性を高めることで駅勢圏を拡大するとともに、駅周辺地区の賑わい形成に資する事業であることから、交通事業者との十分な協議を前提に、実現に向けた検討を行うこと。

小田急多摩線の延伸については、東京都心部とのネットワークの強化や広域交流拠点のまちづくりに大きな影響を与える事業であることから、実現に向けて多くの鉄道需要の創出が図られるよう、駅とまちが一体となるまちづくりを進めること。

(2) 両駅周辺地区の特性を生かした土地利用・整備事業の推進

橋本駅周辺地区におけるリニア中央新幹線駅の設置やそれに伴う「南口地区」の整備、相模原駅周辺地区における相模総合補給廠一部返還地等を活用した「駅北口地区」の整備など、両駅周辺地区がそれぞれの特性を生かし、時機を得たまちづくりを行うことで広域交流拠点全体の魅力が向上することから、本答申に基づく土地利用や市街地整備、広域交流拠点にふさわしい機能集積に向けた着実な取組を行うこと。

また、相模原駅周辺地区については、JR横浜線連続立体交差事業を生かした駅南北の一体的な土地利用及び回遊性の強化を図るとともに、橋本駅周辺地区との相乗効果を目指し、広域的集客に資する機能集積を図ること。